



“Golden Age (黄金の世代)”の今を生きる

人間の脳の働きを解明しようと日々研究している人たちのことを脳科学者と言います。この脳科学者によると、今、皆さんは『Golden Age (ゴールドン・エイジ) 黄金の世代』を生活しているそうです。「黄金の世代」とは「小学校高学年から高校生辺りまで」を指し、その間に「〇〇になりたい、～な生き方をしたい」と強く心に目標を描くことで、脳がその目標を達成しようと全力で働いてくれるのだそうです。

今から11年ほど前、オーストラリアのシドニー日本人学校で私はYさんと出会いました。彼女は小学校低学年の時に家族とともに静岡県からオーストラリアへ渡り、中学2年までオーストラリアの現地の学校に通った後、日本の高校進学を目指して日本人学校の中学3年に編入しました。当時、彼女が、担任の私に口癖のように語っていた将来の夢は、「私は世界で何が起きているのか、真実が知りたい。その真実を報道する仕事に就きたい。」でした。

それから約9年が過ぎたある朝のことです。何気なくテレビ画面に目をやると、NHKのニュース番組「おはよう日本」で、ネットショッピングのロコミ情報の危うさを語る女性の姿が目飛び込んできました。少し大人びてはいたものの、髪型も当時のショートのままで声にも聞き覚えがあったため、すぐにYさんだと気づきました。全国ネットのニュース番組で自分が取材したことを堂々と語る彼女の姿を見て、驚きと同時に嬉しさで胸一杯になったのを今でもはっきりと覚えています。人と人との縁とは不思議なもので、それから数週間後にYさんから電話がかかってきました。「先生、私、今、お隣の愛媛県に住んでいます。NHKの松山支局で働いています。会いたいです!」と。その後、会いたいと

願いながらも月日は過ぎてゆき、コロナ禍となり、やっと会えたのは昨年のことでした。松山へ車を走らせ、昼食を食べてからカフェで座り込み、中学を卒業してからどんな日々を過ごしてきたのか、今の仕事の面白さや苦勞、恋の話まで、時間が経つのも忘れて話し込んでいました。話が仕事のことになったとき、彼女はカバンの中から一枚のDVDを取り出して、「先生、こ



の番組、私が取材して作ったんです。お忙しいと思いますが観てください。」と言い、私に差し出しました。見ると、「プロジェクトX マグロも男も止まらない～クロマグロ養殖・福島和彦」というタイトルがついていました。「マグロ漁師? どうやって取材したん?」と尋ねると、「漁師ばかりが暮らす漁師小屋に何か月も女一人で泊まり込みました。それでやっとのことで心を開いて話をしてもらえたようになったんです。」そう語る彼女の目は、何とも言えない自信に満ちた輝きを放っていました。

遙か昔中3の頃、Yさんが「将来、真実を伝える報道の世界で活躍したい」と心から願ったことで、脳がその夢を実現するよう働きはじめ、物の見方、感じ方が自然と変わっていき、ついには夢をつかみ取ることができたのかもしれませんが、もちろん、夢をかなえるまでの日々は決して楽なものではなかったと聞いています。大学生時代には、政治経済について数えきれないほどの本を読み尽くし、大学の先生や講演会の専門家たちを質問攻めに遭わせたことから、その努力の大きさは計り知れません。

さて、明日から長い夏休みに入ります。普段は時間に追われて考えることもあまりないかも知れませんが、少し立ち止まって自分の心と向きあってみてください。そして、「何がしたいのか、どんな生き方をしたいのか」と問いかけてみてください。『黄金の世代』が終わりを告げる前に。

【保護者の皆様へ】

上記は、本日、終業式で話した内容です。生徒たちが夢を抱き、それに向かって確かな歩みを進められるよう教職員一同力を尽くして参ります。どうかご支援のほどお願いいたします。

最後に、1学期、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきましてありがとうございました。